

IV-1-(1) 子どもの森林整備事業

1 実施主体(地区)

NPO等の団体

2 実施事業の概要

目的

次世代を担う青少年に森林環境についての理解を深めてもらうため、子どもたちが気軽に遊び学べる森林を身近に整備する。

H22年度：3団体が実施した。(別紙参照)

3 成果

- ・子どもたちが遊び学べる森が増えた。
- ・地域の環境や、自然植生にふれることができた。
- ・野帳観察舎や炭窯の設置により、新たな森林の楽しみ方ができるようになった。
- ・森林整備を子どもたちにも探検してもらい、森林に対する関心を高めることができた。
- ・作業を通じて、県民同士、親子同士がふれあう機会が増えた。
- ・整備した森で森林体験学習等が行われた。

4 実施状況写真

初島森林植物園ネットワーク



栗山と両戒山の里づくり実行委員会

如水保育園



IV-1-(2) 子どもの森林体験活動支援事業

1 実施主体(地区)

(1) 子どもの森林体験活動支援事業
NPO等の団体

(2) 森の先生派遣事業
大分県

2 実施事業の概要

目的

次世代を担う青少年に森林環境についての理解を深めてもらうため、NPO等による森林体験活動の支援を実施する。

(1) 子どもの森林体験活動支援事業
H22年度：10団体が実施した。(別紙参照)

(2) 森の先生派遣事業
80名の派遣 受講者2,231名(子ども1,953名、大人278名)

3 成果

- ・多くの森林体験学習が行われた。
- ・地域の環境や、自然植生にふれることができた。
- ・子どもたちの、森林に対する関心が高まった。
- ・森と人の関わりが学べた。
- ・森林体験を通じて、親子のふれあう機会が増えた。

4 実施状況写真

千部もみじ村



里山保全竹活用百人会

くにさき・さきがけ



森の先生



平成22年度 子どもの森整備事業

(単位:千円)

	流域名	事業主体	活動場所	事業内容	交付額
1	大分北部	社会福祉法人如水福祉会如水保育園	中津市	森づくりの体験をとおして、森林や自然を愛する心を育むために、地域の世代間交流をしながら、どんぐりからの苗木植栽を取り入れながら、子どもの森を造成する。	300
2		栗山と両戒山の里づくり実行委員会	宇佐市	古代の歴史が残る栗山に子どもたちが遊び、学び、ふれあいを体験できる森を整備する。	1,000
3	大分西部	初島森林植物園ネットワーク	日田市	日田市大鶴地区の堂迫自然林とその周辺を子どもの森として整備し環境教育や体験・学習の場とする。	450

平成22年度子どもの森林体験活動支援事業

	流域名	事業主体	活動場所	事業内容	交付額
1	大分北部	くにさき・さきがけ	国東市	集落及び周辺在住の子どもたちを対象に採取された種子から成木までの育成体験をさせる森林体験学習。苗木管理と成長の観察。	100
2		宇佐市の森と海の共生を推進する会	宇佐市	森と河川のつながりを学習するために、小学生を対象に広葉樹の植栽による森林づくり体験活動と森林の効用や河川の役割等についての環境教育を行う。	500
3		千部もみじ村	豊後高田市	小学生を対象に広葉樹植栽、植物観察、椎茸駒打ち、木工体験等を実施。	250
4		ふるさと自然を育てる会	豊後高田市	地域の小中学生、並びに子ども会を対象に人工林の整備や広葉樹の植栽を行う。	200
5	大分中部	大分東ネイチャーゲームの会	大分市	ネイチャーゲームをツールとした子どもたちの森林環境教育を実施する	640
6		大東木材青壮年会	大分市	子どもたちに自然とふれあい森林の大切さを知ってもらい、木の暖かみを感じてもらうため次のことを行う。①下刈り、間伐②木製遊具の設置	335
7		南小学校跡地利用推進協議会	豊後大野市	森林環境体験教室の実施 (椎茸駒打ち体験、炭焼き体験、竹筒炊飯体験等)	281
8		NPO法人 里山保全竹活用百人会	竹田市	森林教室の実施 (竹林整備見学、竹ご飯炊飯、農家民泊)	158
9	大分西部	豊後自然塾	日田市	子どもたちに会が開催する森林体験活動を通して森林環境保全の重要性を学んでもらう。	200
10	大分南部	NPO法人未来塾	佐伯市	佐伯市内の山林において、佐伯市在住の児童及びその父兄を対象に、年間を通じた森林体験活動を行う。	274

IV-1-(3) みどりの少年団育成事業

1 実施主体

委託先：(社)大分県森林整備センター

2 実施事業の概要

みどりの少年団等地域で活動している子ども達の見識を広げるため、世界自然遺産に登録された屋久島で、森林の大切さや、自然と人との関わりを学ぶ研修を実施した。

場所：鹿児島県熊毛郡屋久島町

参加者：36名(子ども30名、引率者6名)

日程：3泊4日

行程：屋久島環境文村センター＝屋久島環境文化研修センター＝ヤクスギランド＝塚崎タイドプール＝大川の滝＝栗生マングローブ＝中間のガジュマル

3 成果

- ・雄大な自然に触れ、自然のすばらしさを感じることができた。
- ・屋久杉と人との関係から、自然と人がどのように向き合っていくかを学んだ。
- ・研修後に、研修報告書を作成し、各少年団等に配布した。
(報告書(概要版)500部、報告書100部)
- ・体験発表を実施した。

<子ども達の感想>

- ・栗生マングローブは、多くの二酸化炭素をととても吸うことが解りました。(小6、女子)
- ・屋久島の星に感動しました。(小4、女子)
- ・帰ってからも、いろいろな電気の節約をして地球のために頑張りたいです。(小6、男子)
- ・家に帰ったら、家族に今回の事をいろいろ話して、みんなで、地球環境の事を話したいです。(小6、女子)

4 実施状況写真



IV-1-(4) 次代を担うエコキッズ育成事業

1 実施主体

大分県

委託先：NPO法人九州・自然エネルギー推進ネットワーク

2 実施事業の概要

(1) 目的

子どもたちに、地球温暖化問題や二酸化炭素の吸収源としての森林のもつ機能について、野外体験活動等を通して学んでもらい、環境に対する意識の高い人材の育成を図る。

(2) 実施状況

開催日	場所	参加者 (内子ども)	内容
8/22～23	大分市	38名 (17名)	竹の可能性や自然についての話、竹のツリーハウス
11/6	大分市	100名 (100名)	竹笛、竹琴作りワークショップ
11/13～14	杵築市	17名 (4名)	ティピ(インディアンテント)作り、農業体験、竹楽器ライブ
	合計	155名 (121名)	

3 成果

- ・ 竹林の管理促進のため、竹の有効活用方法を子どもたちに楽しみながら学んでもらうことができた。
- ・ 地元の住民・NPOの協力による農業体験を通じて、普段口にしていない食物がどのように栽培、収穫されているか学んでもらうことができた。

4 実施状況写真

ツリーハウス作業風景



作ったみんな



竹笛作りワークショップ



IV-2-(1) 森林環境学習指導者養成・スキルアップ事業 （「森林環境学習指導者養成セミナー」）

1 事業概要

(1)趣 旨 森林環境学習プログラムを体験することとおして、指導者としての基本的な知識や技法を習得した人材の育成を図る。

(2)実施期日 平成22年5月29日（土）

(3)参加者数 12名

(4)目 標 森林環境学習の目的・内容及び基本的な指導方法を理解することができる。

(5)手 立 て

- ① 専門的な知識・技能を有する講師に指導を依頼することにより、内容の充実を図る。
- ② 数種類の森林環境学習プログラムを体験することにより、参加者の意欲を高めるとともに、指導方法についての理解を深める。

(6)プログラム

【講 義】森林環境学習の概論と指導者に求められるもの
～実践者の思いと現状・活動の様子～

【実習1】森林環境学習プログラムの体験Ⅰ
～自然観察会による自然の中での気づき～

【実習2】森林環境学習プログラムの体験Ⅱ
～ネイチャーゲームによる自然への導入～

【実習3】森林環境学習プログラムの企画
～自分のやりたい・できるプログラムとは～

2 事業の様子



であいのゲーム



講義で、森林環境学習の歴史および講師の思いと現状を学ぶ



2班に分かれて自然観察



どんな質問にも臨機応変に応答



出会った動植物はすべて、生きた教材になる



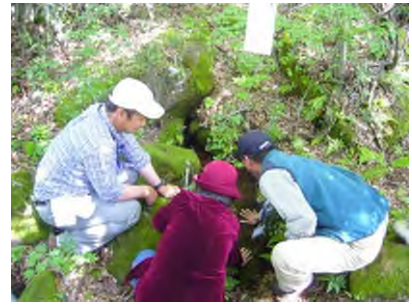
自然観察のふりかえり



ネイチャーゲーム「こうもりと蛾」



ネイチャーゲーム「わたしの木」



ネイチャーゲーム「サイレントウォーク」



ネイチャーゲームのふりかえり



「プログラムの企画」で、感想と目標を出し合う



自分の目標・願いの発表。長年自然観察をしてきた方「知識や技術だけ身につけてもだめ。人格を高めないと、参加者から信頼されない。」

3 成果と課題

(1) 成果

- 内容の満足度・理解度および運営・職員の支援における満足度は、すべて100%であった。
- 自己紹介及び最後の実習での目標発表において、参加者の高い学習意欲が伺えた。その意欲に応えるだけ十分な知識と技能を有した講師陣の指導力が、参加者の高い満足度の要因である。
- 大分県森林づくりボランティア支援センター及びNPO法人グリーンインストラクターおおいの事務局を務める鬼塚氏に、広報の協力依頼を行ったところ、HPや定期的に同支援センターが発行している通信に当事業の案内を記載してくれた。そのことが、定員を超える12名(申し込みは13名)の参加につながった。

(2) 課題

- 過去4年間の宿泊型日程に比べて、参加者同士が気楽に情報交換できる時間が短かった。休憩時間を確保し、参加者交流が深まるように配慮したい。

IV-2-(2) 森林体験学習促進事業

1 実施主体 大分県教育委員会

2 実施事業の概要

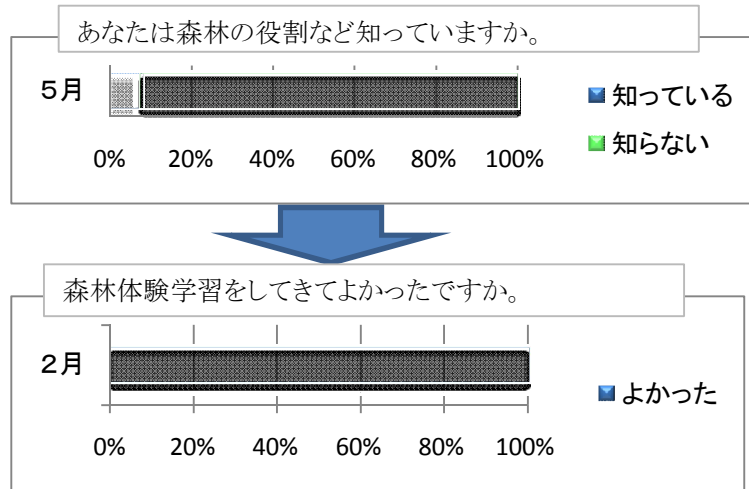
(1) 目的

森林体験学習推進校を指定し、外部人材を活用した森林での体験学習を通して児童生徒の森林に対する興味・関心を高め、森林環境保全への意識の涵養を図るとともに、県内小・中学校への取組の普及を図る。

(2) 推進校における森林体験学習

推進校	活動概要	延べ参加児童生徒数(人)	体験活動(回/年)
宇佐市立院内北部小学校	鹿嵐山登山、ほだ木起こし、炭焼き体験、山と川のつながり	501	7
大分市立王子中学校	腐葉土づくり、校区内自然観察、環境講話、野津原での自然観察	2,309	7
津久見市立青江小学校	校区内森林探索、しいたけコマ打ち、炭焼き体験	205	11
竹田市立直入中学校	間伐作業見学・体験、植樹活動、森の先生の講話、海と山のつながり	380	10
豊後大野市立三重第一小学校	校区内森林探索、ネイチャーゲーム、森林のはたらき体験・調査、炭焼き	550	8
日田市立高瀬小学校	学校林下草刈り、高瀬川源流探索、梨狩り、高瀬川の下流から有明海へ	510	10
	合 計	4,455	53

(3) 成果



◎ 5月と2月でのアンケート調査で
・森林の役割等、知的側面が伸びた。
・いつも実践していること(空き缶等のリサイクル、節電)など、態度面でも伸びた。

◎ ある児童のアンケートから
「山が〈スポンジ〉の役割を果たしていて、水害などを防いでいることが分かった。」

「下流に住んでいる人たちが水を飲むのに汚かったらいやなので、油など流さないようにして、みんなで森や水を大切にしなければならないと思う。」



ネイチャーゲーム(三重第一小)



野津原自然観察(王子中)



森の先生による実習(直入中)



炭焼き体験(青江小)